

## 「一紫会」関連三二年表 (1)

- 1933(昭和8)年
- 8.6 小平村に予科本館落成、九月から授業開始  
多摩湖鉄道に「商大予科前」駅設置され、開業(料金;国分寺～予科前…8銭)
- 1936(昭和11)年
4. — 一橋寮、工事完成、開寮。「白票事件」起こる(2月～12月)
- 1938(昭和13)年
- 一橋寮、食堂・読書室などの増築工事完了
- 1941(昭和16)年
2. 11 「社団法人一橋会」を解散、一橋報国団を結成。予科、本科専門部順次それぞれの報国団を結成、九月には全一橋報国団を結成
- 10.18 東条英機内閣成立
- 12.8 ハワイ真珠湾空襲開始。米英両国に宣戦布告
- 1942(昭和17)年
3. — 昭和17年度予科入学願書受付数 1633 名、ほかに外国人 12 名
4. 1 兼松講堂で新入学者宣誓式
- 4.8 対米英宣戦詔書奉読式を挙行(この「奉読式」はほとんど毎月、8日に行われた)、引きつづき上原専祿教授の「世界的考察の立場」と題する講演
- 4.17-18 神奈川県三崎方面へ「剛健徒歩旅行」
- 4.18 零時30分頃帝都を中心とする京浜地区、中京地区、阪神地区等の各地に初空襲
- 5.5 予科報国団の総会が開かれ、「戦時学徒自戒5条」に対する宣言文」を発表
- 5.8 三科合同で兼松講堂において宣戦詔書奉読式を挙行、式後、杉村広蔵氏の「東亜における理想国家の問題」と題する講演
- 6.2 予科文化講演、安部能成の「時局と知識人」
- 7.12-17 富士裾野板妻寮舎で野外教練
- 10.18-21 習志野で野外教練
- 10.27 滝山城址へ剛健徒歩旅行
- 1943(昭和18)年
- 4.30-5.3 陸軍被服廠へ勤労動員
- 5.18-19 箱根方面へ剛健旅行  
本年度第一回文化講義、講師は東京文理大教授務台理作
- 6.25 学徒戦時動員体制確立要綱を決定(本土防衛のため軍事訓練と勤労動員を徹底)
- 8.10-9.10 北海道派遣勤労報国団隊を組織、八雲町で陸軍飛行場建設工事
- 9.23 文科系高等教育諸学校在学生の徴兵猶予を停止
- 9.24-30 習志野で野外演習
- 10.13 多摩御陵まで行軍(予科正門から約6里)
- 10.20 兼松講堂で出陣学徒壮行会
- 10.21 明治神宮外苑競技場で、文部省などの主催による「出陣学徒壮行会」。東京近在77校の学徒数万、雨中に劇的な行列行進
- (62ページにつづく)

## 一紫会関連三二年表 (2)

- 11.12 12月一日に入営すべき予科生徒に仮修了証書授与および壮行会
- 11.13-22 埼玉県下の農家に分宿して援農作業
- 1944(昭和19)年
1. 6-2.4 予科2年生は二つの班に分かれて静岡県で土地改良などの作業に出動(袋井付近の3ヵ町村と浜名湖北の3ヵ町村)
- 2.29 正午を期して予科本館を軍に引渡し、その後の授業・事務は学部で行う
- 3.31 一橋寮を軍に明け渡し専門部Aホールに移転
- 4.29 天長節拝賀式終了後、三木清の講演
- 6.1-8.31 予科3年生は日野重工業kkに勤労動員
- 9.17 修業年限6ヵ月短縮措置により、兼松講堂で予科修了式を挙行(修了者233名、うち18年度仮修了者87名)、つづいて本科入学者宣誓式
- 9.26 官立経済大学官制が交付され、東京商科大学を東京産業大学と改称
- 12.1 兼松講堂および食堂など大学構内の一部を中島飛行機KK(第一軍需工廠)に貸与
- 1945(昭和20)年
1. — 有志学生の創意により、学生集会所に量運び込んで如水寮をつくる
- 2.10 専門部構内の一橋寮焼失
- 3.10 東京大空襲
- 4.2 B29、中島飛行機武蔵野工場、立川市など東京都下を連日空襲
- 5.5 陸軍に貸与していた小平の一橋寮が焼失
- 7.6 米空軍機P51多数、立川飛行場を目標に来襲、内一機が低空で図書館に向けて機銃掃射、書庫・閲覧室に損害
- 7.8 米軍艦載機約50、立川飛行場に来襲、本学上空で反復攻撃、図書館時計塔などに損害
- 8.6 広島に原爆投下 8.9 長崎に原爆投下
- 8.15 「終戦の詔勅」の録音放送
- 8.29 軍に接収されていた校舎、中島飛行機に貸与されていた講堂などが返還される
- 1946(昭和21)年
- 2.26 前年末以来学生側「実行委員」と交渉をつづけてきた学長選挙の方式について、全学教授会は「学長推薦規則」を決定、学生参加の道を開く
- 8.26 高瀬狂太郎学長退任、上原専祿学長就任
- 1947(昭和22)年
- 3.24 大学の名称が東京産業大学から東京商科大学に戻る
- 1948(昭和23)年
- 9.18-20 全学連結成、東大が会場貸与を拒否したため20日は兼松講堂を使用
- 1949(昭和24)年
- 1.19 上原学長退任、中山伊知郎学長就任
- 5.31 総合大学として一橋大学発足

[資料] この年表の作成にはつぎの資料を参照した(本間)『一橋大学年譜1』、『東京商科大学事務時報』、『一橋新聞』等